

こどもの食物アレルギー 緊急時対応シミュレーション講習会

～児童のアナフィラキシーショック時の適切な対応を学ぶ～

7月12日、宮城県立こども病院において、教育・保育に関わる職員と消防職員を対象としたこどもの食物アレルギー緊急時対応シミュレーション講習会が開催され、77名の方が参加されました。講習会は二部構成で、第一部は『小児の心肺蘇生法』をクリニカル・スキルスラボスタッフが講師を務め、第二部は『こどもの食物アレルギー』について、小児アレルギーを専門とする医師と小児アレルギーエドゥケーターの方々にご指導いただきました。

小児の心肺蘇生法では、DVD教材の視聴を交えながら小児の人形を用いて胸骨圧迫とAEDの使用について学習しました。また、仙台市消防局指令課の消防職員にご協力をいただき、救急要請の流れについて実践練習を行いました。

第二部では、食物アレルギー症状の概要と緊急時対応マニュアルを用いた対応方法、エピペン®トレーナーを使用しエピペン®の使用方法について学びました。特にエピペン®トレーナーを用いた体験学習では、打つ部位や打つ際の注意点を実際に確認できたことで、より理解を深めることができました。

各グループに分かれた演習では、こどもを寝かせた状態でエピペン®を打つ際の固定方法について練習しました。また、食物アレルギー症状が出た場面を設定し、症状の確認と判断を含めた対応方法や、エピペン®使用のタイミングと搬送までの流れについて実践形式で演習を行いました。

参加者からは、自施設に持ち帰り他の職員と今回の学びを共有したり、施設内研修に役立てていきたいといった感想が多くありました。

